

# ダイワ・インドネシア・ ルピア債オープン (毎月分配型)

## 運用報告書(全体版)

第115期 (決算日 2020年5月18日)  
第116期 (決算日 2020年6月17日)  
第117期 (決算日 2020年7月17日)  
第118期 (決算日 2020年8月17日)  
第119期 (決算日 2020年9月17日)  
第120期 (決算日 2020年10月19日)

(作成対象期間 2020年4月18日～2020年10月19日)

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、インドネシア・ルピア建債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当成熟期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先 (コールセンター)  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00～17:00)  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券		
信託期間	18年間 (2010年10月18日～2028年10月17日)		
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ・インドネシア・ルピア債マザーファンドの受益証券	
	ダイワ・インドネシア・ルピア債マザーファンド	インドネシア・ルピア建債券	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			JPMorgan GBI-EM インドネシア（円換算）		公社債 組入比率	純資産 総額
	（分配落）	税込み 分配金	期中 騰落率	（参考指数）	期中 騰落率		
	円	円	%		%	%	百万円
91期末(2018年5月17日)	7,626	60	△ 2.4	15,027	△ 2.5	96.7	2,220
92期末(2018年6月18日)	7,655	60	1.2	15,323	2.0	95.4	2,157
93期末(2018年7月17日)	7,348	60	△ 3.2	14,948	△ 2.4	95.6	1,910
94期末(2018年8月17日)	6,938	60	△ 4.8	14,198	△ 5.0	95.8	1,771
95期末(2018年9月18日)	6,607	60	△ 3.9	13,676	△ 3.7	95.5	1,664
96期末(2018年10月17日)	6,457	60	△ 1.4	13,388	△ 2.1	95.8	1,566
97期末(2018年11月19日)	6,906	60	7.9	14,557	8.7	95.9	1,650
98期末(2018年12月17日)	6,960	60	1.7	14,783	1.6	95.7	1,686
99期末(2019年1月17日)	6,946	60	0.7	14,913	0.9	96.6	1,683
100期末(2019年2月18日)	6,964	60	1.1	15,147	1.6	96.3	1,651
101期末(2019年3月18日)	7,100	60	2.8	15,699	3.6	95.7	1,660
102期末(2019年4月17日)	7,194	60	2.2	16,149	2.9	96.6	1,673
103期末(2019年5月17日)	6,622	60	△ 7.1	15,037	△ 6.9	95.0	1,507
104期末(2019年6月17日)	6,781	60	3.3	15,495	3.0	96.9	1,483
105期末(2019年7月17日)	7,204	60	7.1	16,592	7.1	96.7	1,496
106期末(2019年8月19日)	6,755	60	△ 5.4	15,754	△ 5.0	95.8	1,371
107期末(2019年9月17日)	6,918	60	3.3	16,366	3.9	95.5	1,382
108期末(2019年10月17日)	6,902	60	0.6	16,547	1.1	96.1	1,364
109期末(2019年11月18日)	7,015	60	2.5	17,034	2.9	95.5	1,272
110期末(2019年12月17日)	6,990	60	0.5	17,045	0.1	97.1	1,258
111期末(2020年1月17日)	7,197	60	3.8	18,009	5.7	60.0	1,280
112期末(2020年2月17日)	7,291	60	2.1	18,443	2.4	94.4	965
113期末(2020年3月17日)	6,116	60	△ 15.3	15,675	△ 15.0	91.0	801
114期末(2020年4月17日)	5,704	60	△ 5.8	14,726	△ 6.1	91.2	747
115期末(2020年5月18日)	6,045	60	7.0	15,854	7.7	91.9	792
116期末(2020年6月17日)	6,478	60	8.2	17,286	9.0	96.3	839
117期末(2020年7月17日)	6,261	60	△ 2.4	16,966	△ 1.9	97.3	806
118期末(2020年8月17日)	6,264	60	1.0	17,199	1.4	95.6	804
119期末(2020年9月17日)	6,019	60	△ 3.0	16,703	△ 2.9	95.8	763
120期末(2020年10月19日)	6,114	60	2.6	17,167	2.8	95.1	779

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) JPMorgan GBI-EM インドネシア（円換算）は、JPMorgan GBI-EM インドネシア（インドネシア・ルピアベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。JPMorgan GBI-EM インドネシア（インドネシア・ルピアベース）は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

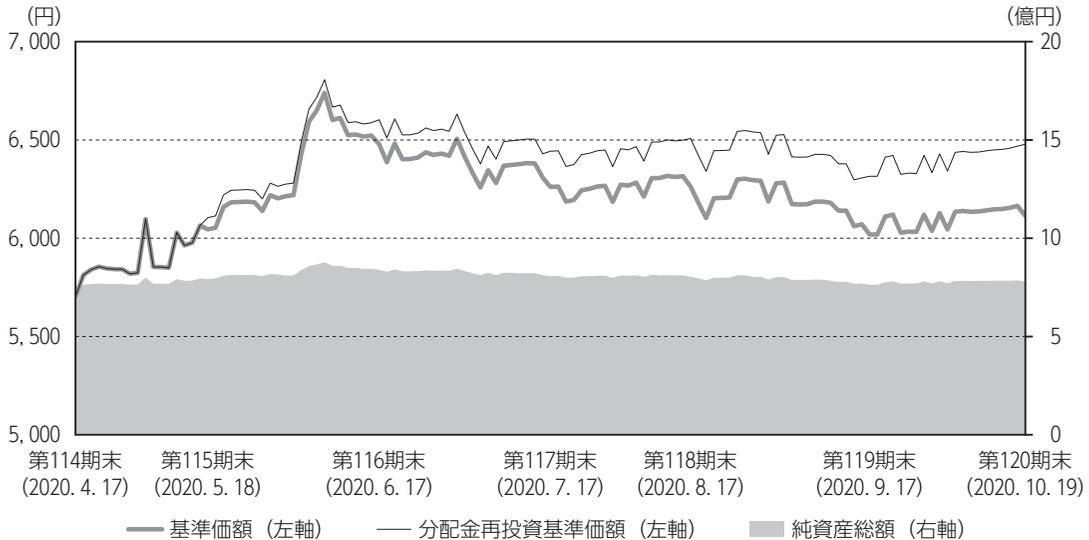
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

第115期首：5,704円

第120期末：6,114円（既払分配金360円）

騰落率：13.6%（分配金再投資ベース）

#### 基準価額の主な変動要因

インドネシア・ルピア建ての債券に投資した結果、金利が低下（債券価格は上昇）したことやインドネシア・ルピアが対円で上昇（円安）したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ・インドネシア・ルピア債オープン（毎月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		J Pモルガン G B I - E M インドネシア (円換算)		公 社 債 組 入 比 入 率
			騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	
第115期	(期首) 2020年 4月17日	円 5,704	% —	14,726	% —	% 91.2
	4月末	5,824	2.1	15,028	2.0	91.0
	(期末) 2020年 5月18日	6,105	7.0	15,854	7.7	91.9
第116期	(期首) 2020年 5月18日	6,045	—	15,854	—	91.9
	5月末	6,203	2.6	16,426	3.6	91.6
	(期末) 2020年 6月17日	6,538	8.2	17,286	9.0	96.3
第117期	(期首) 2020年 6月17日	6,478	—	17,286	—	96.3
	6月末	6,420	△ 0.9	17,167	△ 0.7	95.8
	(期末) 2020年 7月17日	6,321	△ 2.4	16,966	△ 1.9	97.3
第118期	(期首) 2020年 7月17日	6,261	—	16,966	—	97.3
	7月末	6,185	△ 1.2	16,792	△ 1.0	96.9
	(期末) 2020年 8月17日	6,324	1.0	17,199	1.4	95.6
第119期	(期首) 2020年 8月17日	6,264	—	17,199	—	95.6
	8月末	6,187	△ 1.2	16,904	△ 1.7	96.0
	(期末) 2020年 9月17日	6,079	△ 3.0	16,703	△ 2.9	95.8
第120期	(期首) 2020年 9月17日	6,019	—	16,703	—	95.8
	9月末	6,120	1.7	16,937	1.4	95.2
	(期末) 2020年10月19日	6,174	2.6	17,167	2.8	95.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

（2020. 4. 18 ～ 2020. 10. 19）

### ■インドネシア債券市況

インドネシア債券市場の金利は低下しました。

インドネシア債券市場は、当作成期首から2020年8月末にかけて、インドネシア中央銀行が利下げを実施したことや、新型コロナウイルス感染拡大への懸念が和らいだことなどから、金利は低下しました。その後は、感染再拡大への懸念が高まったことで金利が上昇する場面もありましたが、世界的な金融緩和環境が金利の低下圧力となり、インドネシア債券市場の金利はレンジ推移となりました。

### ■為替相場

インドネシア・ルピアは対円で上昇しました。

当作成期首から2020年6月前半にかけては、各国の利下げや流動性供給策を受けてインドネシア金融市場からの資金流出懸念が後退したことに加え、新型コロナウイルス感染拡大への懸念が和らいだことなどから、ルピアは対円で上昇しました。しかしその後は、感染再拡大への懸念が高まったことや、中央銀行の独立性を低下させる「中央銀行法」の改正案が出された報道が嫌気され、ルピアは対円で下落しました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

「ダイワ・インドネシア・ルピア債マザーファンド」の受益証券を通じて、インドネシア・ルピア建債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

### ■ダイワ・インドネシア・ルピア債マザーファンド

インドネシアの政府および政府関係機関ならびに国際機関等が発行する債券に投資します。金利水準や物価の動向、経済情勢や市場環境等を勘案し、ポートフォリオを構築します。金利リスク、種別構成を柔軟に調整しつつ、投資妙味の高いインドネシア・ルピア建債券をポートフォリオに組み入れます。

## ポートフォリオについて

(2020. 4. 18 ~ 2020. 10. 19)

### ■当ファンド

「ダイワ・インドネシア・ルピア債マザーファンド」の受益証券を通じて、インドネシア・ルピア建債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

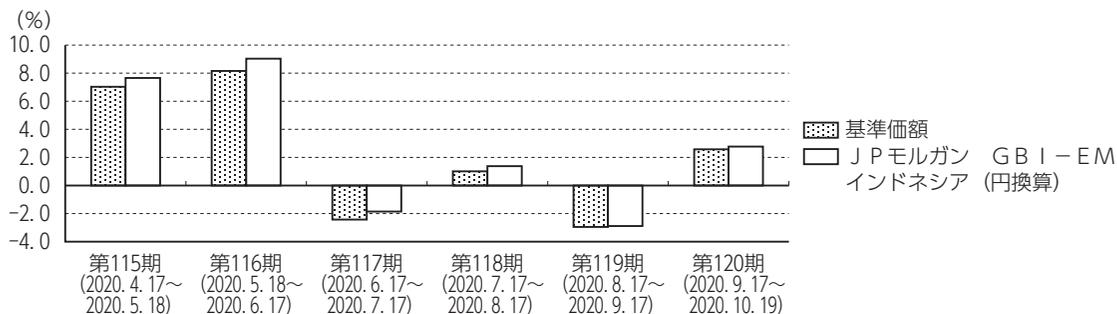
### ■ダイワ・インドネシア・ルピア債マザーファンド

インドネシア・ルピア建債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。債券ポートフォリオは、インドネシア国債および国際機関債で運用しました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数はインドネシア債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。  
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第115期	第116期	第117期	第118期	第119期	第120期
	2020年4月18日 ～2020年5月18日	2020年5月19日 ～2020年6月17日	2020年6月18日 ～2020年7月17日	2020年7月18日 ～2020年8月17日	2020年8月18日 ～2020年9月17日	2020年9月18日 ～2020年10月19日
<b>当期分配金(税込み) (円)</b>	<b>60</b>	<b>60</b>	<b>60</b>	<b>60</b>	<b>60</b>	<b>60</b>
対基準価額比率 (%)	0.98	0.92	0.95	0.95	0.99	0.97
当期の収益 (円)	30	31	24	28	22	30
当期の収益以外 (円)	29	28	35	31	37	29
翌期繰越分配対象額 (円)	1,295	1,266	1,231	1,200	1,163	1,133

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

### ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第115期	第116期	第117期	第118期	第119期	第120期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 30.18円	✓ 31.14円	✓ 24.44円	✓ 28.69円	✓ 22.90円	✓ 30.26円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	✓ 1,325.61	✓ 1,295.83	✓ 1,267.03	✓ 1,231.52	✓ 1,200.26	✓ 1,163.27
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,355.80	1,326.98	1,291.48	1,260.22	1,223.16	1,193.53
(f) 分配金	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,295.80	1,266.98	1,231.48	1,200.22	1,163.16	1,133.53

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

「ダイワ・インドネシア・ルピア債マザーファンド」の受益証券を通じて、インドネシア・ルピア建債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

### ■ダイワ・インドネシア・ルピア債マザーファンド

インドネシアの政府および政府関係機関ならびに国際機関等が発行する債券に投資します。金利水準や物価の動向、経済情勢や市場環境等を勘案し、ポートフォリオを構築します。金利リスク、種別構成を柔軟に調整しつつ、投資妙味の高いインドネシア・ルピア建債券をポートフォリオに組み入れます。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第115期～第120期 (2020. 4. 18～2020. 10. 19)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	46円	0.744%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は6,202円です。
（投 信 会 社）	(21)	(0.334)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(24)	(0.389)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0.022)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	5	0.082	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(2)	(0.034)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(3)	(0.044)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	51	0.827	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

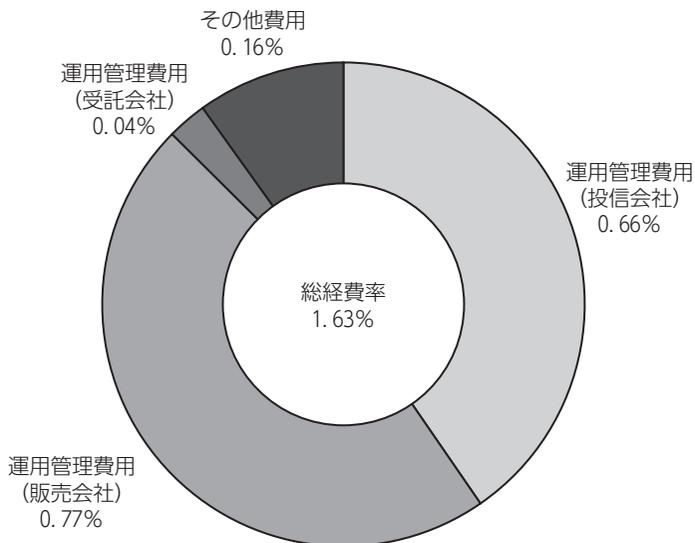
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.63%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2020年4月18日から2020年10月19日まで)

決算期	第115期～第120期			
	設定		解約	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・インドネシア・ルピア債マザーファンド	9,044	13,793	58,482	89,975

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種類	第120期末		
	□数	□数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・インドネシア・ルピア債マザーファンド	546,592	497,154	775,511

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年5月18日)、(2020年6月17日)、(2020年7月17日)、(2020年8月17日)、(2020年9月17日)、(2020年10月19日)現在

項目	第115期末	第116期末	第117期末	第118期末	第119期末	第120期末
<b>(A) 資産</b>	<b>802,721,928円</b>	<b>851,517,300円</b>	<b>815,366,156円</b>	<b>813,894,124円</b>	<b>771,850,200円</b>	<b>789,131,320円</b>
コール・ローン等	12,342,376	4,913,764	12,560,726	4,657,561	12,305,842	4,688,361
ダイワ・インドネシア・ルピア債マザーファンド(評価額)	788,928,875	835,053,128	802,805,430	800,973,324	759,544,358	775,511,012
未収入金	1,450,677	11,550,408	—	8,263,239	—	8,931,947
<b>(B) 負債</b>	<b>10,049,956</b>	<b>12,400,914</b>	<b>8,751,404</b>	<b>9,240,475</b>	<b>8,627,646</b>	<b>9,908,618</b>
未払収益分配金	7,867,077	7,772,007	7,730,361	7,706,923	7,607,694	7,646,511
未払解約金	1,205,544	3,610,417	—	500,970	—	1,225,690
未払信託報酬	971,910	1,007,441	1,004,398	1,010,298	992,114	1,003,002
その他未払費用	5,425	11,049	16,645	22,284	27,838	33,415
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>792,671,972</b>	<b>839,116,386</b>	<b>806,614,752</b>	<b>804,653,649</b>	<b>763,222,554</b>	<b>779,222,702</b>
元本	1,311,179,642	1,295,334,540	1,288,393,615	1,284,487,221	1,267,949,106	1,274,418,531
次期繰越損益金	△ 518,507,670	△ 456,218,154	△ 481,778,863	△ 479,833,572	△ 504,726,552	△ 495,195,829
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>1,311,179,642□</b>	<b>1,295,334,540□</b>	<b>1,288,393,615□</b>	<b>1,284,487,221□</b>	<b>1,267,949,106□</b>	<b>1,274,418,531□</b>
1万口当り基準価額(C/D)	6,045円	6,478円	6,261円	6,264円	6,019円	6,114円

\* 第114期末における元本額は1,311,287,395円、当作成期間(第115期～第120期)中における追加設定元本額は30,745,557円、同解約元本額は67,614,421円です。

\* 第120期末の計算口数当りの純資産額は6,114円です。

\* 第120期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は495,195,829円です。

■投資信託財産の構成

2020年10月19日現在

項目	第120期末	
	評価額	比率
	千円	%
ダイワ・インドネシア・ルピア債マザーファンド	775,511	98.3
コール・ローン等、その他	13,620	1.7
投資信託財産総額	789,131	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、10月19日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=105.40円、100インドネシア・ルピア=0.72円です。

(注3) ダイワ・インドネシア・ルピア債マザーファンドにおいて、第120期末における外貨建純資産(798,775千円)の投資信託財産総額(813,749千円)に対する比率は、98.2%です。

## ダイワ・インドネシア・ルピア債オープン（毎月分配型）

### ■損益の状況

第115期 自 2020年4月18日 至 2020年5月18日 第117期 自 2020年6月18日 至 2020年7月17日 第119期 自 2020年8月18日 至 2020年9月17日  
 第116期 自 2020年5月19日 至 2020年6月17日 第118期 自 2020年7月18日 至 2020年8月17日 第120期 自 2020年9月18日 至 2020年10月19日

項 目	第115期	第116期	第117期	第118期	第119期	第120期
(A) 配当等収益	△ 161円	△ 213円	△ 151円	△ 149円	△ 238円	△ 131円
受取利息	—	2	6	7	2	—
支払利息	△ 161	△ 215	△ 157	△ 156	△ 240	△ 131
(B) 有価証券売買損益	53,634,230	64,803,212	△ 19,248,606	9,207,613	△ 22,463,388	20,687,458
売買益	53,715,289	65,388,470	132,116	9,244,065	100,534	20,713,232
売買損	△ 81,059	△ 585,258	△ 19,380,722	△ 36,452	△ 22,563,922	△ 25,774
(C) 信託報酬等	△ 977,335	△ 1,013,070	△ 1,010,003	△ 1,015,937	△ 997,668	△ 1,008,597
(D) 当期損益金 (A + B + C)	52,656,734	63,789,929	△ 20,258,760	8,191,527	△ 23,461,294	19,678,730
(E) 前期繰越損益金	△ 429,266,492	△ 374,924,591	△ 312,187,989	△ 333,679,060	△ 324,045,589	△ 349,174,041
(F) 追加信託差損益金	△ 134,030,835	△ 137,311,485	△ 141,601,753	△ 146,639,116	△ 149,611,975	△ 158,054,007
(配当等相当額)	( 173,812,546)	( 167,853,917)	( 163,244,529)	( 158,187,699)	( 152,186,949)	( 148,250,279)
(売買損益相当額)	(△ 307,843,381)	(△ 305,165,402)	(△ 304,846,282)	(△ 304,826,815)	(△ 301,798,924)	(△ 306,304,286)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 510,640,593	△ 448,446,147	△ 474,048,502	△ 472,126,649	△ 497,118,858	△ 487,549,318
(H) 収益分配金	△ 7,867,077	△ 7,772,007	△ 7,730,361	△ 7,706,923	△ 7,607,694	△ 7,646,511
次期繰越損益金 (G + H)	△ 518,507,670	△ 456,218,154	△ 481,778,863	△ 479,833,572	△ 504,726,552	△ 495,195,829
追加信託差損益金	△ 137,940,558	△ 141,049,071	△ 146,182,672	△ 150,659,979	△ 154,315,913	△ 161,844,006
(配当等相当額)	( 169,902,823)	( 164,116,331)	( 158,663,610)	( 154,166,836)	( 147,483,011)	( 144,460,280)
(売買損益相当額)	(△ 307,843,381)	(△ 305,165,402)	(△ 304,846,282)	(△ 304,826,815)	(△ 301,798,924)	(△ 306,304,286)
繰越損益金	△ 380,567,112	△ 315,169,083	△ 335,596,191	△ 329,173,593	△ 350,410,639	△ 333,351,823

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

### ■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第115期	第116期	第117期	第118期	第119期	第120期
(a) 経費控除後の配当等収益	3,957,354円	4,034,421円	3,149,442円	3,686,060円	2,903,756円	3,856,512円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	173,812,546	167,853,917	163,244,529	158,187,699	152,186,949	148,250,279
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	177,769,900	171,888,338	166,393,971	161,873,759	155,090,705	152,106,791
(f) 分配金	7,867,077	7,772,007	7,730,361	7,706,923	7,607,694	7,646,511
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	169,902,823	164,116,331	158,663,610	154,166,836	147,483,011	144,460,280
(h) 受益権総口数	1,311,179,642口	1,295,334,540口	1,288,393,615口	1,284,487,221口	1,267,949,106口	1,274,418,531口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第115期	第116期	第117期	第118期	第119期	第120期
	60円	60円	60円	60円	60円	60円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

# ダイワ・インドネシア・ルピア債マザーファンド

## 運用報告書 第10期 (決算日 2020年10月19日)

(作成対象期間 2019年10月18日～2020年10月19日)

ダイワ・インドネシア・ルピア債マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	インドネシア・ルピア建債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

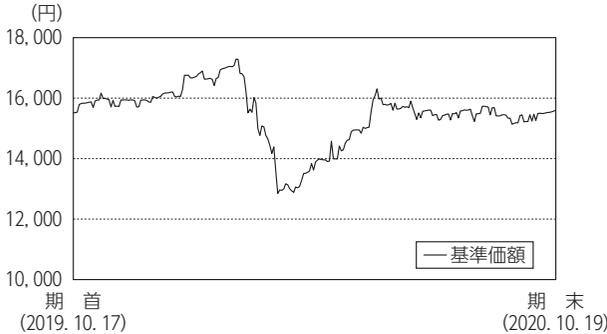
## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移

《運用経過》



年 月 日	基準 価 額		JPMorgan GBI-EM インドネシア (円換算)		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	
	円	%		%	%
(期首) 2019年10月17日	15,516	—	16,547	—	96.5
10月末	15,875	2.3	16,974	2.6	96.7
11月末	15,939	2.7	16,984	2.6	95.4
12月末	16,204	4.4	17,265	4.3	97.7
2020年1月末	16,653	7.3	18,001	8.8	96.1
2月末	16,220	4.5	17,542	6.0	95.7
3月末	13,136	△ 15.3	14,202	△ 14.2	90.8
4月末	13,917	△ 10.3	15,028	△ 9.2	91.4
5月末	14,997	△ 3.3	16,426	△ 0.7	92.1
6月末	15,688	1.1	17,167	3.7	96.3
7月末	15,275	△ 1.6	16,792	1.5	97.3
8月末	15,447	△ 0.4	16,904	2.2	96.4
9月末	15,448	△ 0.4	16,937	2.4	95.6
(期末) 2020年10月19日	15,599	0.5	17,167	3.7	95.5

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) JPMorgan GBI-EM インドネシア (円換算) は、JPMorgan GBI-EM インドネシア (インドネシア・ルピアベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。JPMorgan GBI-EM インドネシア (インドネシア・ルピアベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morgan はその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morgan からの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016. J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

◆ 基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：15,516円 期末：15,599円 騰落率：0.5%

【基準価額の主な変動要因】

インドネシア・ルピア建ての債券に投資した結果、インドネシア・ルピアが対円で下落 (円高) したことはマイナス要因となりましたが、金利が低下 (債券価格は上昇) したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆ 投資環境について

○ インドネシア債券市場

インドネシア債券市場の金利は低下しました。

インドネシア債券市場は、当作成期首から2020年2月後半にかけて、インドネシア中央銀行が利下げを実施したことなどから、金利は低下しました。しかしその後は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大から市場のリスク回避姿勢が急速に強まり、インドネシア債券市場では債券が売られ、金利は上昇しました。3月後半から当作成期末にかけては、感染拡大への懸念が和らいだことやインドネシア中央銀行による利下げを背景に、金利は低下しました。

○ 為替相場

インドネシア・ルピアは対円で下落しました。

当作成期首から2020年1月半ばにかけては、米中貿易摩擦への懸念が後退したことなどから、市場のリスク選好度が強まり、ルピアは対円で上昇しました。しかしその後は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受け、市場のリスク回避姿勢が強まったことで、ルピアは対円で下落しました。3月後半から当作成期末にかけては、感染拡大への懸念が和らいだことなどから、ルピアの下落幅を縮小させました。

◆ 前作成期末における「今後の運用方針」

インドネシアの政府および政府関係機関ならびに国際機関等が発行する債券に投資します。金利水準や物価の動向、経済情勢や市場環境等を勘案し、ポートフォリオを構築します。金利リスク、種別構成を柔軟に調整しつつ、投資妙味の高いインドネシア・ルピア建債券をポートフォリオに組み入れます。

◆ ポートフォリオについて

インドネシア・ルピア建債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。債券ポートフォリオは、インドネシア国債および国際機関債で運用しました。

◆ ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。参考指数はインドネシア債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

《今後の運用方針》

インドネシアの政府および政府関係機関ならびに国際機関等が発行する債券に投資します。金利水準や物価の動向、経済情勢や市場環境等を勘案し、ポートフォリオを構築します。金利リスク、種別構成を柔軟に調整しつつ、投資妙味の高いインドネシア・ルピア建債券をポートフォリオに組み入れます。

## ダイワ・インドネシア・ルピア債マザーファンド

### ■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	107 ( 14)
(その他)	( 92)
合 計	107

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入しております。

### ■売買および取引の状況

#### 公 社 債

(2019年10月18日から2020年10月19日まで)

外 国	インドネシア	国債証券	買付額	売付額
			千インドネシア・ルピア	千インドネシア・ルピア
			4,268,000	44,936,925
		特殊債券	27,142,900	56,718,070
			( — )	( — )

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

### ■主要な売買銘柄

#### 公 社 債

(2019年10月18日から2020年10月19日まで)

当 期		期 末	
買 付	金 額	売 付	金 額
銘 柄	千円	銘 柄	千円
INTER-AMERICAN DEVELOPMENT BANK (国際機関) 6.25% 2021/6/15	184,154	EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT (国際機関) 9.25% 2020/12/2	337,727
EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT (国際機関) 9.25% 2020/12/2	32,576	Indonesia Treasury Bond (インドネシア) 6.375% 2042/4/15	237,939
Indonesia Treasury Bond (インドネシア) 8.75% 2044/2/15	32,436	EUROPEAN INVESTMENT BANK (国際機関) 6.95% 2020/2/6	86,237
		Indonesia Treasury Bond (インドネシア) 8.375% 2034/3/15	53,125
		Indonesia Treasury Bond (インドネシア) 8.75% 2044/2/15	28,140
		INTER-AMERICAN DEVELOPMENT BANK (国際機関) 7.875% 2023/3/14	25,320
		Indonesia Treasury Bond (インドネシア) 9.5% 2041/5/15	18,292
		Indonesia Treasury Bond (インドネシア) 6.625% 2033/5/15	10,267

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

### ■組入資産明細表

#### (1)外国(外貨建)公社債(通貨別)

作 成 期	額 面 金 額	当 期		組入比率	うちBB格以下組入率	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
区 分	千インドネシア・ルピア	千インドネシア・ルピア	千円	%	%	%	%	%
インドネシア	100,450,000	106,769,792	768,742	95.5	—	70.7	—	24.8

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)外国 (外貨建) 公社債 (銘柄別)

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	当 期		末		償 還 年 月 日
				額 面 金 額	評 価 額			
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額		
インドネシア	Indonesia Treasury Bond	国債証券	9.5000	千インドネシア・ルピア 7,800,000	千インドネシア・ルピア 9,231,534	千円 66,467	2041/05/15	
	Indonesia Treasury Bond	国債証券	6.3750	3,500,000	3,080,000	22,176	2042/04/15	
	Indonesia Treasury Bond	国債証券	6.6250	6,500,000	6,279,065	45,209	2033/05/15	
	Indonesia Treasury Bond	国債証券	8.3750	40,700,000	44,333,696	319,202	2034/03/15	
	Indonesia Treasury Bond	国債証券	8.7500	14,500,000	16,156,045	116,323	2044/02/15	
	EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT	特殊債券	9.2500	700,000	705,390	5,078	2020/12/02	
	INTER-AMERICAN DEVELOPMENT BANK	特殊債券	6.2500	26,750,000	26,984,062	194,285	2021/06/15	
合 計	銘柄数 7銘柄			100,450,000	106,769,792	768,742		
	金 額							

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年10月19日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 768,742	% 94.5
コール・ローン等、その他	45,006	5.5
投資信託財産総額	813,749	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、10月19日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=105.40円、100インドネシア・ルピア=0.72円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産 (798,775千円) の投資信託財産総額 (813,749千円) に対する比率は、98.2%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年10月19日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	813,749,026円
コール・ローン等	34,392,714
公社債 (評価額)	768,742,506
未収利息	10,595,973
前払費用	17,833
(B) 負債	8,931,947
未払解約金	8,931,947
(C) 純資産総額 (A - B)	804,817,079
元本	515,930,872
次期繰越損益金	288,886,207
(D) 受益権総口数	515,930,872口
1万口当り基準価額 (C / D)	15,599円

\* 期首における元本額は897,607,554円、当作成期間中における追加設定元本額は21,468,698円、同解約元本額は403,145,380円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ・インドネシア・ルピア債オープン (毎月分配型) 497,154,313円、ダイワ・インドネシア・ルピア債オープン (年1回決算型) 18,776,559円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は15,599円です。

# ダイワ・インドネシア・ルピア債マザーファンド

## ■損益の状況

当期 自 2019年10月18日 至 2020年10月19日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	59,855,830円
受取利息	59,859,202
支払利息	△ 3,372
(B) 有価証券売買損益	△ 22,605,290
売買益	47,088,212
売買損	△ 69,693,502
(C) その他費用	△ 6,671,304
(D) 当期損益金 (A + B + C)	30,579,236
(E) 前期繰越損益金	495,158,451
(F) 解約差損益金	△ 248,716,008
(G) 追加信託差損益金	11,864,528
(H) 合計 (D + E + F + G)	288,886,207
次期繰越損益金 (H)	288,886,207

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。